

第8回ワークショップで出された主な意見

第1部 今年度のワークショップのテーマの検討

【検討テーマに関するファシリテーターからの提案】

- ・ 昨年度からの課題として、昨年度と同じ議論を繰り返さないよう運営方法を工夫してほしいという意見や、より漁業現場の状況に基づいた具体的な検討を進めてほしいという意見があった。したがって、漁業活動を維持し安全性を高めるための具体的方法を検討してはどうかと思う。
- ・ 昨年度の代表的な論点を踏まえ、漁港整備について検討するグループ、既存の機能の強化による漁業支援を考えるグループの2つに分けて、具体的な検討を行ってはどうか。

【提案に関する意見】

- ・ ファシリテーターの意見に賛成。
- ・ 費用対効果分析を含む行政側の検討結果を示した上でそれをもとに議論を行う。
- ・ 昨年度の報告書で示している「代替案」の検討を進める。
「代替案」を基に、複数の案を同時並行的に検討していく。
- ・ 企画提案型の事業が漁港整備にも取り入れられる可能性を考慮し、提案募集のスペックとなるものが議論できるのではないか。

【話し合いを行うにあたっての意見】

- ・ 予算や税金の使い方、市の事業の優先順位等もこのWSで検討するのか、しないのか、一度決めた方が良い。
- ・ まず、行政が、今後の鎌倉の水産業の在り方や、施策の考え方を明確にするという根本的な問題を解決する必要がある。
- ・ 現在の漁業における具体的なニーズや目的があった上でその対策として漁港建設なりがあると思うため、その点をしっかりまとめる必要がある。
- ・ 方向性を定めすぎず、自由に、鎌倉にとっていいものを提案できるほうが良い。
- ・ 予算確保の見通しが全くつかない状況で検討をするのはおかしいのではないか。
- ・ 予算がついてからでは、執行までの時間がなく市民の意見反映がむずかしいため、今から検討しておいた方が良い。この部分は絶対ダメだというものを示しておく必要もあるだろう。
- ・ 予算の話はともかく、鎌倉にふさわしい漁港や理想とする浜の使い方について意見を整理しておく必要がある。

【費用対効果分析について】

- ・ 費用対効果について、施設詳細が定まらない状況であっても、概略の数値が出せるのではないか。
- ・ 費用について概算値を出す場合には振幅まで提示してほしい。

【現地踏査について】

- ・ 検討テーマが定まり、見学する点を明確にした段階で現地踏査を行った方が良い。

【その他】

- 民間の漁港を作ることにはできないのか。
- 漁港建設に 5～10 年かかりその間の台風被害への対応がなんとかしのげるなら、そもそも漁港建設に関する検討をする必要があるのか疑問である。

など